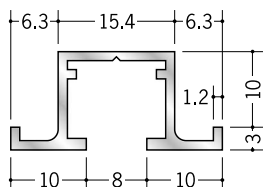


アルミ ピクチャーレール ビス止めタイプ

先付けタイプ

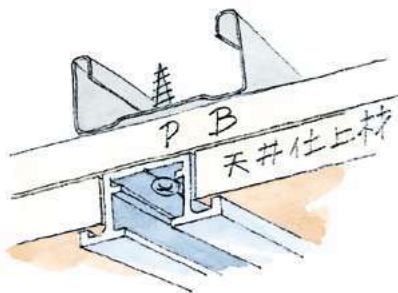
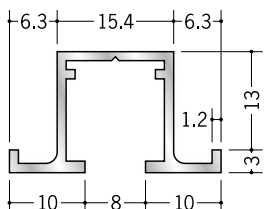
57013 PR-309
3m/アルマイトシルバー・
ホワイトアルマイト3
電解ブラック

57113 PR-309 フック投入口あき
3m/アルマイトシルバー・
ホワイトアルマイト3
電解ブラック



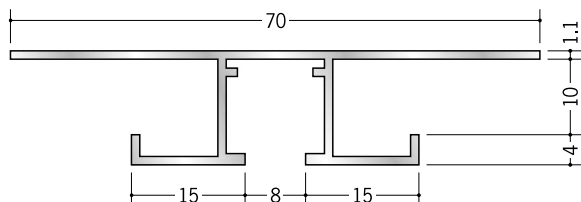
57014 PR-312
3m/アルマイトシルバー・
ホワイトアルマイト3
電解ブラック

57114 PR-312 フック投入口あき
3m/アルマイトシルバー・
ホワイトアルマイト3
電解ブラック



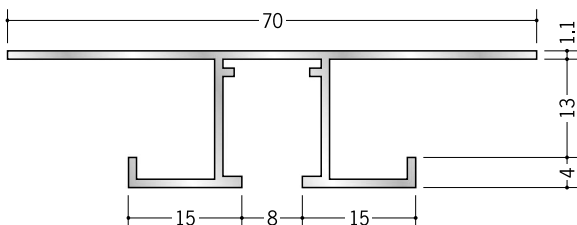
57203 PR-709S
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3・電解ブラック

57204 PR-709S フック投入口あき
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3・電解ブラック



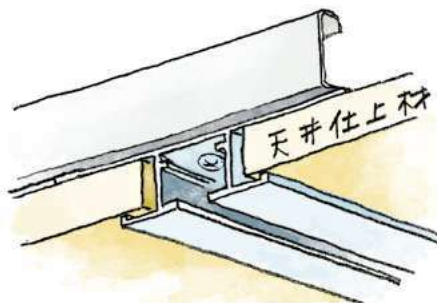
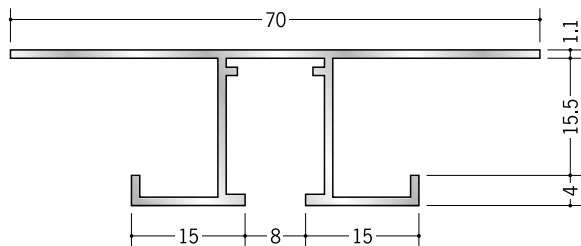
57205 PR-712S
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3・電解ブラック

57206 PR-712S フック投入口あき
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3・電解ブラック



57201 PR-715S
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3・電解ブラック

57202 PR-715S フック投入口あき
3m/アルマイトシルバー・ホワイトアルマイト3・電解ブラック



サイドカバー



57023 PR-309用サイドカバー
シルバー・ホワイト・ブラック

57024 PR-312用サイドカバー
シルバー・ホワイト・ブラック

57140 PR-709S用サイドカバー
シルバー・ホワイト・ブラック

57141 PR-712S用サイドカバー
シルバー・ホワイト・ブラック

57128 PR-715S用サイドカバー
シルバー・ホワイト・ブラック



写真の色調は、
印刷の為実物とは
多少異なる場合が
あります。



フック投入口あきのレールは、
端から200mmに13φの穴が1つ
あいています。

フック、
ワイヤーハンガー、
ジョイント等の部材は、
P116～P119を
ご覧下さい。



ピクチャーレールの安全荷重は、P124と技術資料(P740)に掲載しています。

ピクチャーレール安全荷重

レール単体での安全荷重

品 名	天井面付け		壁面付け	
	300 mmピッチ	450 mmピッチ	300 mmピッチ	450 mmピッチ
PR-8F	8 kg	2 kg	15 kg	7 kg
PR-10F	15 kg	8 kg	30 kg	25 kg
PR-77F	15 kg	8 kg	20 kg	10 kg
PR-22F	40 kg	25 kg	—	—
PR-3017R	15 kg	10 kg	25 kg	20 kg
PR-4217R	15 kg	10 kg	30 kg	25 kg
PR-109	8 kg	5 kg	15 kg	8 kg
PR-112	15 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-209	15 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-212	20 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-9M	15 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-12M	20 kg	8 kg	15 kg	8 kg
PR-515S	25 kg	10 kg	—	—
PR-309	15 kg	8 kg	20 kg	15 kg
PR-312	25 kg	15 kg	20 kg	15 kg
PR-709S	25 kg	15 kg	20 kg	15 kg
PR-712S	25 kg	15 kg	20 kg	15 kg
PR-715S	25 kg	15 kg	20 kg	15 kg
PR-910F	—	—	15 kg	10 kg
PR-912F	—	—	25 kg	15 kg
APL-101	—	—	30 kg	20 kg

レール単体の安全荷重は瞬間にかかる荷重を考慮して破壊荷重の約1/3で設定しています。



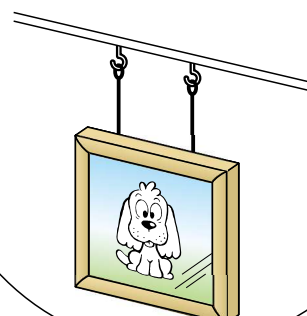
品 名	ブラケットタイプ	
	300 mmピッチ	450 mmピッチ
PR-409	20 kg	8 kg
PR-412	25 kg	15 kg
PR-615S	25 kg	15 kg
PR-33F	40 kg	25 kg
PR-60F	25 kg	15 kg
PR-40F	50 kg	40 kg
PR-50F	50 kg	50 kg

吊る対象物に見合ったピクチャーレールと部材の選定をおすすめします。



ピクチャーレールの強度は十分でも、部材の強度が不足していると、落下する危険が生じます。ビスの固定ピッチも大きな要因になります。

額縁などを吊る場合、1本のフック（ワイヤー）は、不安定になるので、2本のフック（ワイヤー）を使用することをおすすめします。



例えば、
10 kgの額縁を吊る場合

PR-109と天井スライドフックBを使用して天井面に取付けると、フックは変形しないもののレールが変形する可能性が生じます。

PR-209と天井スライドフックのBの組合わせで300 mmピッチで固定すると安全です。